



高知県北川村役場
広報

またがわ

12

No. 568

Dec 2013



11月17日 中岡慎太郎メモリアルキャンドル

Contents

- ゆずの郷祭り ②
- 中岡慎太郎墓前祭 ③
- 中岡慎太郎先生顕彰会だより ④
- 議会だより ⑤～⑨
- 国際交流員 ⑩
- 北川村健康教育実行委員会 ⑪
- 保健だより ⑮

北川村の人口・世帯数

平成25年10月30日現在 () は前月比

人 口	1,418人 (－1)
男	658人 (－1)
女	760人 (±0)
世帯数	644戸 (－2)
昨年同期の総人口	1,432人 世帯数655戸

北川村 慎太郎とゆずの郷祭り

平成25年11月2日(土)、北川村保健センター、北川村ゆず王国(株)本社工場、中岡慎太郎館周辺の3カ所を会場に北川村慎太郎とゆずの郷祭りが開催されました。

各会場で、ゆず加工品やシシ鍋、シカ肉ソーセージ、田舎寿司、農産物など多くの特産品の出店があり、開会前から大勢の人で賑わっていました。また、北川村温泉による足湯体験、ゆず収穫体験、ゆずの手搾り体験などの体験コーナー、北川村ゆず王国の工場見学、慎太郎生家では抹茶接待などに多くの方が参加し、北川村を体験しました。

メイン会場の保健センターでは、司会の「高知に住みます芸人」淀家萬月さんの大道芸、豆電球のライブ、大橋通り踊り子隊をゲストに招き本場のよさこい踊りを披露いただきました。

当日は、村内外から多くの来場者があり会場周辺では1日中大いに賑わいました。



北川村が倉敷芸術科学大学と 包括連携協定を締結

クロード・モネと交流があった、日本画家の児島虎次郎を祖父に持ち、モネの庭開園前からご支援、ご協力いただいている倉敷芸術科学大学芸術学部長の児島塊太郎先生からのご提案で、10月24日に村と倉敷芸術科学大学との包括的な連携協定を締結しました。

倉敷芸術科学大学は、岡山県倉敷市にあり、平成7年4月に開学。芸術学部、産業科学技術学部、生命科学部の3学部を設置しています。

この協定は、倉敷芸術科学大学と北川村が、包括的な連携のもと、地域の活性化や品格を誇れる価値ある村づくりに寄与し、人材育成と新たな価値を育むネットワークの構築を目指しています。

その目的を達成するために、両機関が有する知的資源を活用し、また共同で事業を行うなどの連携強化を図ることとしています。



北川村

交通安全母の会 優良団体表彰

平成25年11月13日の第52回交通安全高知県民大会において、長年にわたる交通安全啓発活動が評価され、四国管区警察局長・四国交通安全協会連名表彰を受賞されました。



中岡慎太郎墓前祭

11月17日(日)、北川村柏木の松林寺で北川村出身の勤王の志士、中岡慎太郎の墓前祭がしめやかに執り行われました。

式典には、村長をはじめとする役場関係者、中岡家当主中岡晟氏、来賓や中岡慎太郎のファンなど50人ほどが参列しました。今年は「慎太郎への



メッセージ」ということで全国の方

からのメッセージを募集し、その中の一つが墓前で朗読されました。

墓前祭終了後、中岡慎太郎先生顕彰会などからの出店や大林幸二さんのコンサートも催されました。また、夕方からはキャンドルナイト、シロクマ楽団によるジャズコンサートが行われました。



第33回 北川村議長杯ソフトボール大会開催



第33回議長杯ソフトボール大会が、10月21日から31日まで、北川小学校グラウンドにて開催されました。

決勝戦は、Aゾーン、Bゾーンに分かれてのリーグ戦をそれぞれ勝ち上がった、「和道会チーム」と「入交チーム」が試合を行い、打線がつながりを見せた「和道会チーム」が、見事に初優勝を飾りました。また、3位決定戦では、「建設チーム」が「J-POWERチーム」を下して、3位となりました。

上位入賞チームについては、以下のとおりです。

1位 和道会チーム 2位 入交チーム 3位 建設チーム

2013年 県民スポーツフェスティバル開催!!



2013スポーツフェスティバルが県内各地で開催され、北川村からは、グラウンドゴルフ、クレー射撃の2競技に参加しました。

両競技とも前日からの悪天候もあって当日の開催が危ぶまれましたが、無事に競技が開催され、競技者は、日頃の練習の成果を発揮し、頑張りました。

←グラウンドゴルフ

クレー射撃→



1 H25年度 歯・口の健康に関する啓発標語コンクール受賞

(社)高知県歯科医師会が主催する「平成25年度 歯・口の健康に関する啓発標語コンクール」におきまして、北川小学校2年濱渦幸くんの標語『かむことが からだところ つよくする』が「銀賞」を受賞しました。

小学校

学校通信

School communication



中学校

2 安芸地区中学校駅伝競走大会

11月2日(土)、安田町で安芸地区中学校駅伝競走大会が開催され、北川村からは男女各1チームの代表選手、11人が力走しました。練習の成果を出し切ることができました。





中岡慎太郎先生顕彰会だより



1. 「大勢のお客様でにぎわった」中岡慎太郎生家周辺

11月2日(土)は、「北川村慎太郎とゆずの郷祭り」で、生誕地 柏木にも約400人のお客様が訪れ、一日中にぎわいました。

中岡慎太郎先生顕彰会もこの日は、「顕彰会事務所売店」、「抹茶体験」(生家中庭)、「和弓体験」(生家上広場)、ボン菓子実演販売をしました。他に瀧洞豊一店、ホップ安芸の会売店等が出店をし、お客様をお迎えしました。

「慎太郎柚園」でゆずとりを体験



約5年ぶりに北川村へ来させていただきました。

日々忙殺され、自分の生活ばかりを考えてしまう近頃でしたが、改めて「慎太郎さんの言葉、行動」を見聞きし、反省するとともに、これから何ができるかしっかりと考えていきたいと思ひます。

高知・北川村の皆様の「温かいおもてなし」に心から感謝いたします。

また、お会いできますように！

(東京都：渡部さん)



中庭での「抹茶接待」



一日中にぎわった「和弓体験」



「巡回バス」にも行列が

2. 現代慎太郎考 I 『柏木には慎太郎の息吹がある』

2010年の『龍馬伝』のブーム以降も、柏木を訪れる村内外のお客様はたくさんおられます。

今回は、何がお客様を「中岡慎太郎先生の生誕地」に引きつけるのかを考えていきたいと思います。

武市半平太の子孫の方は、柏木を訪れて次のように感想を書かれています。

「北川村には、中岡慎太郎先生の生家、遺髪墓地、顕彰公園、中岡慎太郎像や中岡慎太郎館等々が整備されてうらやましいです。それと、中岡慎太郎先生顕彰会事務所から見る生家周りの景色がすばらしい。北川村村民が、中岡慎太郎先生を大切に、敬っていることが、今回中岡慎太郎先生の生誕地を訪ねてわかりました。(2011. 5. 12記入)」

また、兵庫県からのお客様は、「慎太郎先生生家周辺の山、森、川、鳥、花等自然が、慎太郎さんが生きていた頃と変わらない感じが、私がより慎太郎さんを身近に感じられる理由だと思います。(2011. 4. 13記入)」という感想を書かれています。

まず、生誕地には、慎太郎を感じる息吹があります。その魅力にひかれてお客様が訪れています。



「向学の道の「光次の並木杉」



「歴史を感じる顕彰公園」



「「しゅうびん」をした巻の淵



生家



「慎太郎が「栽培奨励した」ゆずとり

中岡慎太郎先生顕彰会事務局から

中岡慎太郎先生顕彰会事務局 ☎38-2413

県観光キャラクター「慎太郎」も「慎太郎柚園」のゆずとり

10月29日(火)午後、「中岡慎太郎先生顕彰会事務所」で事務処理と、11月17日に行う行事の「キャンドルナイト」の打ち合わせをお客さまと行っていました。

ふと見ると、高知県観光キャラクター「中岡慎太郎」の突然の訪問がありました。

「慎太郎」は、最初「中岡慎太郎像」前で撮影。宮城県からのお客様とも記念撮影に気軽に応じていました。最後に「慎太郎柚園」でゆずとりを撮影しました。

せっかくの訪問でしたので、「慎太郎柚園」看板下でポーズを決めた写真も「慎太郎柚園来園記念」ということで撮影させていただきました。



「宮城県のお客様」と記念撮影



「「慎太郎柚園」でゆずとり



「「慎太郎柚園」看板下で



議 会 だ よ り

発行責任者

議長 浜渦 康雄

平成25年・

9月議会定例会

平成25年9月議会定例会は、9月11日に開会し、報告2件、一般会計補正予算1件、一般会計および特別会計決算の認定6件、委員の任命について2件、その他2件を含め合計13件の議案が審議されました。

13日には、一般質問を2氏が行い閉会しました。

：行政報告：



大寺村長

まず、来月に本大会が迫った「ねんりんピック」についてですが、バウンドテニス交流大会への参加は32チームとなりました。参加者数については、審判員、ボランティア、健康づくり関係者等を含ませて、総勢2,000人程を見込んでおります。

地域交流の催事としては、健康づくり教室やいきいき百歳体操・簡易体力測定を開催するとともに、おもてなしコーナーとして、ゆずゼリーをはじめ地

元物産の提供と販売、競技会場では中芸地区を素材に児童が描いた絵画の展示を行い来場者に中芸地区の魅力をPRすることとしています。

本大会は、開始式を10月26日(土)に行い、27日および28日の競技開催となっております。地域全体で盛り上げるため、開始式と入場行進などに中芸管内の小学校・中学校、中芸高校の生徒たちが、花を添えることとなっておりますので、ぜひ、村民の皆さま方におかれましては大会を観戦し、参加者との交流を図っていただけますよう、お願いいたします。

次に、集落活動センターの仕組みづくりですが、北川村でも和田・小島・平鍋の3地区を対象として、昨年度から地区の住民の方々と意見交換を行ってきた。地域との繋がりを支え合いを目的として、本年7月に北川村中部地区集落活動協議会を立ち上げ、先月、毎週日曜日に北川村温泉で地域の方々から自ら作った野菜等を出品販売する直販市を開催しました。

地域から31品目の出品があり、販売状況も概ね好調でありましたので、試験実施の結果を検証しながら、継続的に取り組み、北川村ならではの活動としてつなげてまいりたいと考えています。

■防災地震対策

本年5月に「高知県版：南海トラフ巨大地震による被害想定」が公表されたことを受け、7月26日から行いました行政座談会にて、住民の皆さまへ、地震による家屋の倒壊から「命」を守っていただくため、住宅の耐震化をお願いしました。この耐震化については、地域に住む方々の命を守るための対策ですので、議

員各位におかれましては、地域住民の方々に改めて勧めていただきたくお願いいたします。

9月1日に実施した県下一斉訓練では、住民の防災意識や地震発生時の対応を身につけてもらうため、南海地震の発生を想定した避難訓練等を、村内の24地区・自主防災組織主体で実施し、300人を超える参加者がありました。

訓練内容は、各地区の自主防災組織で異なっておりますが、避難訓練、防災機材点検、消火訓練、衛星携帯電話使用訓練等のほか、高知県住宅課職員の見守りによる住宅耐震化の勉強会や北川村消防団の指導による初期消火訓練を行った地区もあります。

大規模災害時には、自分の命は自分で守ることが必要となりますので、住民の方々に対し、自主防災活動や防災意識の高揚に向けて、さらに積極的に取り組まなければならないと感じております。

なお、村職員につきましては、災害時の情報受発信訓練(緊急エリアメール)や昨年度に作成しました地域防災計画対応マニュアルに沿った訓練等を行っております。マニュアルに沿った訓練を順次実施し、検証することで、より具体的に北川村の規模に応じた対応マニュアルへと修正してまいりたいと考えています。

■保健福祉関係

保健福祉関係では、住民の方々の健康を守るために特定健診の受診向上に向けて取り組んでいるところですが、小島会場および野友会場で実施した集団検診での受診率は、35.5%と昨年に比べ1.5%程向上しています。現在は、集団健診を受けていない方に対して病院で受診できる個別健診の受診券を発送するなど、の勧奨を行っております。

今後も住民の皆様の健康を守るため、その基となる検診について、さらに意識を高めていただけるよう取り組んでまいります。

■第1次産業の振興

平成25年度のゆずの生育状況を見ますと、梅雨明けからの干天と猛暑により、肥大遅れや、樹勢の衰えがみられるなど、厳しい状況となっておりますが、本年度の出荷目標(青果出荷90トン・搾汁用出荷1,300トン)を達成できるよう、JA・生産者と協力し、行政としても支援に取り組んでまいります。

一方、ゆず振興ビジョンに掲げているが、農家の高齢化や後継者問題に関わる所得向上や耕作放棄地の増大といった課題を抱え、今後のゆず産地のあるべき姿を検討していくため、ゆず振興協議会とJA土佐あきゆず部北川支部の合同で村内のゆず農家を対象としたアンケートを実施し、取りまとめを行っております。村として、このアンケート結果を参考に、5年後・10年後の産地のあるべき姿を見据え、どのようにして、ゆず産地を存続し、北川村ゆずを後世に引き継いでいくのか、関係機関とも協議し、対策を講じたいと考えています。

また、本年4月に落成しました、ゆず果汁殺菌処理施設につきましては、5月より熱殺菌処理を開始し、現在まで原料にして約31トンの処理を行ったと聞いています。殺菌処理という付加価値により、販路が拡大されることを期待しております。

昨年、日本で初めて輸出されました青果ゆずについては、本年度も継続して取り組んでおり、9月から青玉をヨーロッパに向けて輸出することとなりました。この他、農道の舗装や、水路の改修等につきましても、農業体質強化基盤整備促進事業等を活用して順次整備を進めており、今年度末には平成24年度に計画した予定箇所の整備が完了する予定です。

■観光の振興

夏(7月・8月)の入込客数は、モネの庭マルモッタン10,233人(前年比91%)、中岡慎太郎館1,379人(前年比88%)、北川村温泉ゆずの宿3,71

2人(前年比91%)となっており、北川村全体では前年比90.7%となりました。また、高知県全体でも猛暑等の影響により前年比95%となっていると聞いております。

そのような中、8月17日にモネの庭で催されました「モネの庭夜間開園」では、庭全体が2,000個のキャンドルで彩られ、幻想的な雰囲気の中、800人を超える来園者が訪れ、大いに盛り上がりしました。今後は、夏のイベントとして定着させていきたいと考えています。

■学校関係

学校関係では、小学校2年生以上で実施している標準学力調査に加え、4年ぶりに実施された平成25年度全国学力・学習状況調査(対象：小学校6年・国語/算数、中学校3年・国語/数学)の結果が公表されました。

これらの結果、小学生の学力は、これまでと変わりなく概ね全国平均、中学生の学力は、平成19年度調査から改善はしていますが、全国との差は依然厳しいものがあります。

こうしたことから、授業の改善や放課後の加力学習等への取り組みによる学習の定着化が図られてきた部分もありますが、小中学生共に応用問題の弱さが明確になりましたので、今後は、基礎・基本の一層の定着を図ることはもちろん、課題の応用力が育成されるよう、さらに授業改善や個別支援等に取り組み、思考力の向上については学力向上へつなげるために、その質を高めてまいります。

施設面では、北川小学校トイレ改修工事につきまして、水洗化と共に、床の乾式化などの改修を8月末に終え、2学期から供用を開始しました。小中学校特別教室新築工事につきましては、鉄骨部分の工場製作に取り掛かっており、来年2月の完成に向けて順調に進んでいます。引き続き、工事用車両の出入りによる交通障害や騒音等、ご迷惑をお掛けしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

■中岡慎太郎関係

中岡慎太郎関係では、慎太郎脱藩150年にちなみ、慎太郎の脱藩を促した幕末史上最大の事件である8月18日の政変について紹介した夏期企画展「8月18日の政変―尊攘派たちの瓦解―」を7月31日から9月16日まで開催しております。

また、夏休み期間中のイベントとして、昨年に引き続き、小・中学生を対象とした「親子歴史教室」や企画展に合わせた「8月18日の政変の波紋」土佐藩を中心に―を開催し、参加者から好評をいただきました。今後も新たな企画の展開等により魅力ある施設としての運営に努めてまいります。

次に、「中岡慎太郎 向学の道マラソン大会」につきまして、第3回大会が好評であったことから、実行委員会審議の結果、来年も継続して第4回目を平成26年5月25日開催することとなりました。今後、実行委員会を中心に検討を重ねてまいります。大会開催には、多くのボランティアスタッフが必要となりますので、村民の皆さまはじめ、これまで同様にお声掛けをさせていただきますと考えております。ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

■中芸広域連合関係

△消防▽

消防業務であります。これまで4件の火災が発生していますが、8月に3件が集中したことから、火災予防に一層努めていくこととしております。

救急業務については、7月末現在、出場件数213件、搬送人員203人(昨年同期比：件数8件、人員9人の増)となっております。また、猛暑による熱中症の疑いで12人の方を医療機関へ搬送しています。

△介護保険▽

介護保険の事業状況は、6月末で被保険者数が4,543人、要介護(要支援)認定者数は828人(うち居宅サービス利用者数413人、地域密着型サービス利用者数

76人、施設サービス利用者数171人)となっております。

次に、地域包括支援センターが行っている予防給付のケアマネジメント業務は、6月末現在で要支援1、2となった認定者は171人(うち介護予防支援計画作成件数74件)です。

△火葬場▽

火葬場業務につきましては、管内65件(安田町15件、田野町19件、奈半利町21件、北川村7件、馬路村3件)、管外が8件となっております。

△保健福祉▽

障がい者自立支援協議会・子ども支援部会にて、発達に課題のある子どもたちを含めた子育てや小学校就学に向けての地域連携の体制づくり、就学に向けた関係機関との連携に関する細やかなマニュアルの必要性が認識され、課題解決に向けた具体的な実施計画を策定することとなりました。

障害保健福祉にしましては、「モネの庭」と連携し、職場体験を実施しております。当初8人でしたが、内2人は、短期間の試用期間を設けた雇用や農業への就労に移行しております。今後も、地域の交流を通じた社会参加活動や就労体験の必要な事例には、事業所と保健師の訪問活動を通して実施していきます。

また、障がい者の休日活動の確保と地域住民への啓発として、苗起こしを皮切りに9月から公共施設の花壇を利用し、当事者と住民が共同で花作業を行う「モネの庭でまちを咲かそう活動」を計画しております。地道な活動ですが、住民と共に広がっていければと考えております。

△広域観光▽

中芸広域の観光振興としましては、安芸広域市町村圏事務組合が中心となり、平成27年度開催に向け進めております高知県東部地域博覧会に向け、中芸観光協議会においても、よりよい博覧会となるように取り組みを始めております。

また、中芸観光情報等発信事業をFIM高知に委託し、取材した中芸5町村の観光情報や地域情報を、毎週火曜日にラジオ放送にて情報発信を行い、観光振興に取り組んでいます。

■安芸広域市町村圏関係

△特別養護老人ホーム▽

国や県の動向を踏まえ、検討を重ねておりました丸山長寿園の民営化につきましては、関係者、関係機関との協議を行い、現在、社会福祉法人認可に向けた取り組みをしており、平成26年4月の実施に向け準備を進めております。

△東部地域博覧会▽

平成27年度に高知県東部を中心に開催予定の観光イベント「高知県東部地域博覧会」については、安芸広域市町村圏事務組合が事務局となり、現在、基本計画の策定を行っています。

：一般質問：



浜渦 純章 議員

モネの庭について

問 今、モネの庭の運営方針が実質どのようにしていくのかがちょっと見えてこないような気がするが、今後どのように取り組んでいくのか。運営計画等があればそれを示してください。

また、6月議会以降の改善をどのようにされているか。

それとこれからモネの庭が存続していくについて副村長とジャルダンの社長と兼務で運営をしていくのが問う。

答 村長

これについては、前に議員協議会の中で一定説明を申し上げたところであります。ただ決め手に欠ける部分もあって、非常に分かりづらい部分もあったんじゃないかなというふうに感じております。今までモネの庭につきましては、非常に赤字を計上の重ねてきたとそういう経緯もございますので、そこで本当に再生、再建というのを主体に、プランをもう一回見直し、することも必要であるというふうに思っております。

このモネの庭につきましては、やっぱり北川村の顔、そういうこともございまして一定の村の財源を入れるということも必要であるうし、そこがどの程度になるのかですね、それも分かりませんけれども、全額、今のような状況では今後引き続いてやっていくことについてなかなか厳しいものがあるうかと存じます。後ほどジャルダンの社長である副村長からこのことについては答弁をさせていただきます。

そしてもう一点、今後、副村長がジャルダンの社長と兼務するのかと、こういうことでございますけれども、これにつきましてはジャルダンの社長としてそういった人材、そういった適当な人がおれば、社長として兼務、兼任じゃなくて専任の社長をおくことが好ましいというふうに思っております。

答 副村長

モネの庭として、まず組織形成ということとして本当に動けるような形を作り上げること、それから集客活動、この2点が一番のテーマと考えております。それから次に、6月以降の改善点ということですが、これは今期に入りましてずーっと続けてきておる訳ですけれど、特にカフェは、今月の連休からスーパ系の品を一品追加するように取り組んでできておりますし、またパンのほうにつきま

しても毎月最も売り上げの少ない物、新しいものに変更していくというふうなと、そういう準備もようやくできるようなになってきております。こんなことはわずかなことかも分かりませんが、これから徐々にこういった工夫を増やしていったその工夫を継続することでモネの庭へ来たらずいいでカフェを利用しようじゃないか、コーヒーマー一杯飲みたいというじゃないか、あるいはパンも買っていくていきたいと考えております。また、ようやく今月一日から新たな支配人も迎えることができたので、これまでの取り組みを加速していった収益改善につなげたいと考えております。

小水力発電設置について

問 先に小水力推進協議会の方で、宗ノ上地区の河川の流量を調べていただいたんですが、水量が少ないということで、それはそれで終わったが、今後村内でそういう水量のあるところが、適したところがあれば発電の設置に取り組んでいく意思があるかないか問う。

答 村長

高知県の企業局で調査を、宗ノ上川について調査をしてもらった時点では、なかなか高知県の企業局としてもここで小水力発電を起業する、起こすというふうなことにして厳しいというふうな聞いております。なぜかと申しますとなかなか投資の経費、あるいは売電を仮にしても、なかなか採算が取れないというふうな連絡を受けております。

それともう一点今後そういった小水力に適したところがあればどうするかということでございますけれども、この点については必ずしも採算ベースということだけではございませんが、やっぱり今後技術革新であるとかですね、あるいは地域の状況、そして、どうしてもそういうものは一定の村は金をつぎ込んでやらざるを得んとか、例えば地域のそれは状況

でございますけど、そういったものについては十分協議を検討していく必要がある。今の段階ではそういう基本的には採算が取れるところがあれば、調査から始めてさらに深めていきたいというふうに考えております。

答 産業建設課長

宗ノ上地区の宗ノ上川において、昨年度、県の公営企業局電気工水課に依頼いたしまして検討をしていたんですが、内容につきまして補足説明をさせていただきます。これは宗ノ上川沿いで一番奥にゆず園がありますが、そのゆず園の地点を発電所というふうなことで想定いたしました。そこから約150メートル上流に砂防ダムがございまして、その砂防ダム付近を取水地点として検討をしていただきました。検討の条件ですけれども、現地での水量調査および同じ奈半利水系であります平鍋ダムの流入量のデータなどを電算からいただまして、それらを参考にして最大使用水量を0.9ワットの発電が可能ということで国の固定価格買い取り制度で電気事業者に全量売電するということとを前提にその収支を試算していただきました。この試算では発電所設置の概算工費が490,000円、000円、売電収入が年間32,500,000円、維持管理等の計上支出に年間27,500,000円掛かるということで、固定価格買い取り制度の買い取り期間であります20年間で回収できる資金が約372,000,000円となりまして、約120,000,000円の赤字となるというふうな想定される結果となりました。公営企業局によりまして、工事費が年間発電量1キロワットあたり300円位を、下回らないというふうなことでございますので、そのまま使える管路等ですね、既設の施設があるなど相当条件が良くないと売電での収支は成り立たないということでございます。

24年度決算より行財政全般について村長の所見を問う



尾崎 一マ 議員

問 24年度決算が確定し歳入が2,760,267千円、歳出2,428,616千円で実質収支額が155,559千円となり、その内100,000千円を基金に繰り入れ24年度決算で基金総額が1,876,000千円となった。村債は22年度1,385,000千円、23年度1,255,000千円、今年度は1,165,000千円と毎年約1億円減額と県内でもトップクラスの財政指数を残した。この様な財政状況について村長の所見を問う。

答 村長

この公債比率については目指していたことが実現でき満足しています。平成17年より取り組んだ集中改革プランの成果と思う。今後も職員と一緒に取り組んでいきたいと考えます。

問 昨年は10億円を超える交付税があったが北川村の財政規模から類推すると約8億円から9億円ぐらいと考えられるが反面公債の返済には現在の公債額から類推すると毎年1億5千万円から7千万円を考える。歳入を増やすためには自主財源を増やすことがひとつの方法だが村長の考えとして、「自主財源」の増加はどうかすればいいのか問う。

答 村長

「自主財源を増やすことは大変難しい問題です。大企業を誘致して税収を増やすなどがあるが、現実問題難しい状況にあります。細かなことではあるが税の滞

納の積極的な整理や基金の適切な運用から生まれる利子収入など細かいことの積み重ねの努力が必要と思っています。

問 税収増加の最も効果的な方法は企業誘致ではあるが、現実的ではないことは理解する。ならば収入増加策として少額ではあるが収入増加になることに努力することが必要ではないか。一例として「ふるさと納税」や「ふるさと北川寄附金」が平成20年度から始まり21年度には1,680千円あったものが、24年度には20千円に減少している。また木材売り払い収入で24年度には12,326千円あるが、これは年度によりその額が大きく変動しているが、村有財産の在り方として収入増加策として考えられるのではないか。

答 総務課長
ふるさと寄附金についてはご指摘のとおり毎年度減少しています。対応としては寄附をいただいた方には、ふるさと産品を送り、毎年年賀状を出すなど行っています。

問 このように対応していても現実寄附金が減少している。努力のやり方に工夫がいのではないか。
このような財政、財務状況の中、将来に向けての投資という観点より小水力発電や太陽光パネルによる発電収入など村として取り組んでいけることは何か考えられないか。

答 村長
小水力発電の取り組みについては否定するものではないが、よそが小水力や太陽光発電、ペレットやチップに取り組んでいるからといって北川村もそれらについてできるかといえば、今うちの状況ではできないというのが現実です。つまりそれだけの人員の配置が無いということです。林業関係の事業も公約で掲げているができていません。ただこれは取り組みまないということではありません。

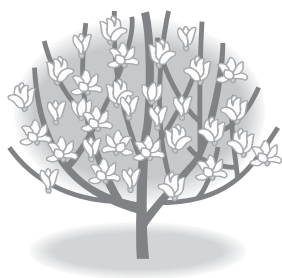
問 人員が不足していることで現実取り組めないとの答弁であるが、不足する人員体制の中で将来のビジョンをどう示し取り組んでいけるのかを問うているのである。

職員たちは現実には目の前にある仕事を消化することはいっぱいになっているように見えるが、行政の仕事は自治法、税法、村の条例や規則・要綱に則ってされるものである。小さな仕事の抜かりが指摘されるなか職員たちに対して仕事のフォローはどのようにしているか。

答 村長
新規採用の職員にはひと通り説明し、実務に就かせます。日々の業務では担当課決裁者への注意喚起と会計管理者（出納）でのチェックを強化しています。まだまだ能力不足な面があり、今後その意識を高めて円滑に業務ができるように研修も増やしていこうと考えています。

問 過去何度も指摘してきていることではあるが仕事のミス「抜かり」は意識では改善しきれません。仕事の進め方は仕組みとして取り組む方法を具体的に考えることである。また課をまたがるような情報を庁内で共有することも再三指摘したが、まだまだ不足するような現象が見えるが、その対策はどうか。

答 副村長
会計管理者や担当部署だけでなく課長会では村長にも報告できるようにしています。また課長から職員の面談を実施するなどの取り組みを始めています。



：議案審議：

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告について（報告第1号）

北川村教育委員会の自己点検・評価について（報告第2号）

字区域の変更について

柏木地区内の字の名称および区域を変更するものです。

全員賛成（可決）

物品購入契約の締結について

扶桑電通株式会社高知営業所と物品購入契約の締結を行うものです。

落札金額 5,029,500円

全員賛成（可決）

教育委員会委員の任命について

北川村野友



田中 勝之 氏 48歳

全員賛成（同意）

固定資産評価審査委員会委員の任命について
北川村島



上村 尚幸 氏 69歳

全員賛成（同意）

平成25年度北川村一般会計補正予算（第3号）について

歳入歳出それぞれ26,910千円を増額し予算の総額を1,887,993千円とするものです。

全員賛成（可決）

平成24年度北川村一般会計歳入歳出決算の認定について

全員賛成（認定）

平成24年度北川村代替輸送特別会計歳入歳出決算の認定について

全員賛成（認定）

平成24年度北川村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

全員賛成（認定）

平成24年度北川村簡易水道特別会計決算の認定について

全員賛成（認定）

平成24年度北川村介護サービス事業
特別会計歳入歳出決算の認定について

全員賛成（認定）

平成24年度北川村後期高齢者医療特
別会計歳入歳出決算の認定について

全員賛成（認定）

意見書

森林吸収源対策及び地球温暖化対
策に関する地方の財源確保のため
の意見書

全員賛成（可決）

提出先：内閣総理大臣・財務大臣・総務
大臣・農林水産大臣・環境大臣・
経済産業大臣・衆参議長

道州制導入に断固反対する意見書

賛成多数（可決）

提出先：内閣総理大臣・総務大臣・衆参
議長



モネの庭のお知らせ



北川村の“鹿ソーセージ”を
手作り工房のパンでサンドした
“鹿々ソーセージドック”（500円）
も好評発売中!!

今年もクリスマスケーキ販売いたします♪



画像イメージ

- ※生クリームケーキ（18cm） 3,300円
- ※チョコレートケーキ（18cm） 3,300円
- ※ブッシュ・ド・ノエル（24cm） 3,300円

お渡し日は12/22（日）～25（水）の期間で
お選びいただけます。なお、配達はいえま
せん。ご了承ください。

予約締切
12/16（月）

ご予約はお早めに
お願いします。

ご予約はモネの庭「手づくり工房」まで・・・ ☎ 0887-32-1233



早いもので2013年も残りわずかとなりました。
皆様に支えられ“北川村「モネの庭」マルモッタン”も
無事に新しい年を迎えることができそうです。
ありがとうございます。
寒い毎日が続きますが、体調を崩されませんように。

【お問い合わせ】

北川村「モネの庭」マルモッタン
〒781-6441

高知県安芸郡北川村野友甲1100番地

☎0887-32-1233 FAX0887-32-1243

<http://www.kjmonet.jp/>

定休日：毎週火曜日 年末年始休園12/26～1/1



短歌教室

大西 豊

念願の高規格道路説明会

よろこぶ住民足どりかるく

浜渦 静子

よみかせせ今日は慎太郎の生きしさま

しづかに聞きくるる十一人の児ら

杜城 芳子

水路わき草丈のびて小さき花

“ひとりむすめ”という名のあるらし

大寺 一子

国のため召されて夫は六十八年

残命生きる吾九十一才

田村猪世子

孫の手のとどかぬかゆさ幾度も

目ざめて夜の長さを思う

浜渦美恵子

台風にものみな洗われ青空に

初冠雪の奥穂高見ゆ

ご冥福をお祈りします

氏名 年齢 地区 死亡月日

仁井田 深 89歳 和田 9月21日



国際交流員 アマンダ・チャウ

ハロウィーンとクリスマス

海外では、10月31日にハロウィーンのお祝いをします。簡単にいえば、ハロウィーンは昔からのお祭りで、いなくなった人の魂がお墓から出てきて、人間たちにいたずらをする夜と信じられていました。魂に人間だと気付かれないように仮装をするのです。アメリカから広がった習慣は、子どもが仮装をして、近所を回って「お菓子をくれないといたずらをするよ」という意味で「トリック・オア・トリート」と言ってきたくさんのお菓子をもらいます。



10月19日に北川村でハロウィーンパーティーを実施しました。国際交流イベントですから、中芸地区JET参加者の4人と

オーストラリアから旅行に来た私の友達2人にも手伝ってもらいました。子どもたちは、カボチャボウリングや魔女の帽子の輪投げなどのゲームをしてお菓子をもらいました。とても素敵な仮装をした子どもがたくさんいましたので、仮装コンテストで商品を誰にあげるか、とても迷いました。今年のハロウィーンパーティーは去年より参加者が多くて、保育園児から小学生までの64人が来てくれてとてもうれしかったです。

ハロウィーンが終わると、早速クリスマスが近づきます。クリスマスは12月25日にお祝いをするキリスト教徒にとって1年で最も大事なイベントです。なぜなら、世界中の人を

救うためにイエス・キリストが生まれた記念日だからです。オーストラリアでは正式な宗教がないのに、国勢調査によると60%ぐらいの人がキリスト教徒で、クリスマスも祝日です。



オーストラリアでは、クリスマスに親戚を集めて、ビーチに行ったり、バーベキューをしたりしてのんびり一日を過ごし、プレゼントの交換をする時期となります。職場でよくクリスマスパーティーを行って、「Kris Kringle」というプレゼント交換もします。毎年11月の初めからものすごく多いチラシやテレビCMがクリスマスプレゼント商品を紹介します。なぜ、こんなことになったのでしょうか？

「Christmas is the season of giving」。クリスマスは、心を込めて、自分の大事にしている人だけではなく、自分より不幸な人に親切にしてあげるシーズンだからです。そのいわれは、生前イエス・キリストが多くの人を救い幸福に導いたといわれているからです。慈善団体がこの時期を利用してお金や商品などを集めます。地元のショッピングセンターで、大きなクリスマスツリーの下に、おもちゃのプレゼントを預けたら、慈善団体が恵まれない子どもにクリスマスプレゼントとして配ります。誰でも楽しめるクリスマスシーズンになるようにこういう行動がたくさん行われます。

オーストラリアのクリスマスは日本のクリスマスと比べて大きな違いがあるのは間違いないですね。クリスマスの本当の意味を考えて、家族や大事にしている人とクリスマスを過ごしてみたいいかがですか？

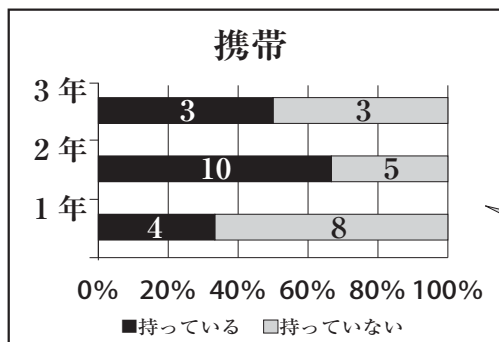


子どもの健康について考えよう

北川村健康教育実行委員会

今月号は
北川中学校

携帯電話・スマートフォン等の トラブル防止教室



10月17日に高知県警察本部生活安全部の方に来ていただき、携帯電話・スマートフォン等の使い方についての話をお聞きました。携帯電話の間違った使い方によっていろいろなトラブルが問題になっています。ご家庭の方でも使い方については、お子さんと十分話し合うようにしてください。

本校では、すでに半数の生徒が携帯電話を持っているようです。



覚えておこう 8つの約束

- ・個人情報「流さない」
- ・困ったときは「相談しよう」
- ・何があっても「あわてない」
- ・使わない！他人の「ID・パスワード」
- ・約束守ろう「使い方」
- ・知らないサイトに「近づかない」
- ・載せない、書かない「いじめの言葉」
- ・みんなを守る「フィルタリング」

講演後の感想の中から

便利なのはいいことだけど危険がひそんでいるから気をつけないうと、心にはいけないうと思いました。



やはり使い方を熟知してから使わないといけないうと思う。じゃないといろいろなことに巻き込まれるから。わからないことがあれば知っている人に聞こうと思った。

携帯のインターネットや SNS が原因で殺人にまきこまれたり、事故にあったり、便利だけれどその分危険なものなんだと思いました。インターネットをつなぐだけで、何億人もの人が周りにいると思ったら少し怖くなりました。



放送大学 4 月入学生募集中

—好きなとき 好きな勉強 好きなだけ—

こんな方はぜひ放送大学へ

- ・やり残した勉強を一からやり直したい。
- ・定年後にボランティアをやりたい。
そのために役立つ知識を身につけたい。
- ・大学に通う時間はないけれど、大卒資格が欲しい。
- ・自分のペースでじっくり学問をしたい。

【放送大学の特長】

- 放送大学への入学は、15歳以上から。
入学試験なしで入学可能。
- 科学・数学、国際・文化、芸術・博物館、市民・社会・コミュニティ、健康・福祉、マネジメント・技術など幅広い分野が学べます。
- 自身の学習目標に応じて自ら学習計画を立てます。1科目から学べます。
- 授業は放送授業（BSテレビ231・351ch）が中心ですが、全国で3000を超える面接授業が開講されており、一流講師陣から直接指導も受けられます。

高知でも700名を超える仲間が生涯学習を実践中です。この機会にあなたも放送大学へ。

4月入学生の出願期間は2月28日まで。

お問い合わせ先 放送大学高知学習センター
☎ 088 - 843 - 4864 へ。



政府統計

平成25年工業統計調査を実施します



工業統計キャラクター
コウちゃん

工業統計調査は我が国の工業の実態を明らかにすることを目的とした統計法に基づく報告義務がある重要な統計です。

調査結果は中小企業施策や地域振興などの基礎資料として利活用されます。

調査時点は25年12月31日です。

調査票へのご回答をお願いいたします。

経済産業省・高知県・市町村

ご存じですか！ パートタイム労働法 Q & A

Q：パートタイム労働者から正社員に転換することはできますか？

A：全ての事業所において、パートタイム労働者から正社員への転換を推進するための措置を講じなければならないとパートタイム労働法で定められています。

※パートタイム労働法についてのお問い合わせは高知労働局雇用均等室（☎ 088 - 885 - 6041）



～震災に強い人・地域・ネットワークづくり講演会開催のお知らせ～

県では、長年地震防災研究に携わり、本県の南海地震対策推進本部アドバイザーでもある京都大学防災研究所・巨大災害研究センター 矢守克也教授をお招きして、南海トラフ地震から自分や大切な人の命を守るために「自ら何ができるか」、「みんなと何ができるか」について、講演会を開催します。

日 時 平成25年12月21日（土） 13：30～15：00

場 所 高知市本町3丁目2-15

高知新聞放送会館6F 高新RKCホール

内 容 演題「南海トラフ地震を生き抜く～かけがえのない命を守るために、いま何ができるか～」

講 師 京都大学防災研究所・巨大災害研究センター
矢守克也教授

入 場 料 無料

申込方法 12月16日（月）までに高知県南海地震対策課までお名前をお知らせください。

託児サービスも設けています（生後6カ月～9歳まで）。ご利用の方は必ず、お子様のお名前、年齢、緊急時電話番号をお知らせください。

駐 車 場 会場には駐車場がありませんので最寄りの駐車場をご利用ください。

お問い合わせ先 高知県南海地震対策課 企画調整担当
☎ 088 - 823 - 9798



12 月 4 日 から 10 日 までは 人 権 週 間 です

「世界人権宣言」は、基本的人権及び自由を尊重し確保するために、世界のすべての人々とすべての国々が達成すべき共通の基準として、昭和23年（1948年）12月10日の第3回国際連合総会において採択されました。

国際連合は、世界人権宣言の採択を記念して、採択日の12月10日を「人権デー（Human Rights Day）」と定め、加盟国に対し、人権擁護活動を推進するための各種行事を実施するよう要請しています。

法務省および全国人権擁護委員連合会は、関係機関等の協力を得て、「人権デー」を最終日とする1週間（12月4日から10日まで）を「人権週間」と定め、世界人権宣言の意義を訴えるとともに人権尊重思想の普及高揚に努めております。

高知地方法務局では、今年度の人権週間行事のひとつとして、県内の主要箇所にて「特設人権相談所」を開設し、DV・セクハラ・ストーカーなどの女性に関する人権問題や、児童虐待・いじめ・体罰など子どもに関する問題、高齢者や障害者に関する問題、その他嫌がらせ等、人権に関するご相談をお受けします。相談は無料で、秘密は厳守します。

お気軽に、最寄りの「相談窓口」をご利用ください。

お問い合わせ先 北川村役場住民課 ☎ (8) 32 - 1214

国民年金保険料の納付方法として◆「2年前納（口座振替）が始まります!◆

平成26年4月末の口座振替分より、割引額のより大きな2年前納がご利用いただけるようになります。

《2年前納（口座振替）のメリット》

- ・メリット1：2年間で1万4千円程度の割引となります。
- ・メリット2：2年前納分の全額がその年の社会保険料控除の対象となります。
- ・メリット3：口座振替をご利用することにより、納め忘れを防ぐことができます。

2年前納は口座振替のみご利用が可能です。

お申込み期限は毎年2月末までです。

詳しくはお近くの年金事務所へお問い合わせ願います。

土佐愛蘭会北川支部 蘭花展示会 受賞者発表

土佐愛蘭会北川支部 蘭花展示会が北川村民会館で行われました。受賞者は下記のとおりです。

無名の部

総合優勝

サラサ

坂本

守

準優勝

青

山本

寿彦



銘品の部

優

勝

銀

鈴

安養寺 仁

準優勝

豊

雪

有澤 政朋

観光協会からのお知らせ

こんにちは。事務局の松本です。

ゆずの季節を迎えましたね。村内のあちらこちらに見えるゆずの木々になるゆず玉が、丸い黄色い花が咲いているように見えてかわいらしく、この季節に村の中を車で走るのが楽しくなります。北川村のゆず栽培を最初に奨励した、といわれている中岡慎太郎の命日もゆずの季節の11月17日ですね。毎年、遺髪墓前で墓前祭の神事が行われますが、今年は一般の方がもっと参加していただきやすい催しも合わせて行い、11月17日が中岡慎太郎の命日であることをより多くの方に知ってもらいたいという目的で、墓前祭の関連イベントとして「中岡慎太郎メモリアルキャンドル」を計画しました。当日は1000個



のティーキャンドルとは別に、村の方に手作りをしてもらったキャンドルを灯して一緒に慎太郎の偉業を偲んでもらいたいと考え、北川村社会福祉協議会の職員さんにご相談したところ、周りの方々にもお声をかけてくださって、160個余りの手作りキャンドルが完成しました!! 観光協会の活動は、村内の観光関係者やグループ、団体に関係する方々との交流は多くありますが、観光に携わる機会の少ない方々や、村民の方と交流を持たせていただく機会がとても少ないので、今回、協会からのお願いに快くご協力くださって、当初の予定以上の数のキャンドルを手作りしていただけたことが本当にありがたかったですし、交流を持たせていただけたことがとても嬉しかったです。今回参加して下さった皆さんが、キャンドル作りを楽しんでくださって、「また計画してよ」と言って下さったので、キャンドルだけではなく、村のPRにもつなげられて、参加して下さる皆さんも楽しんでもらえるような企画を考えたいと思います。その際にはご案内しますので村民の皆さんもぜひご参加ください!!

＊中芸広域連合地域包括支援センターより＊

介護や老後のことで不安はありませんか

～高齢者への虐待を防ぐために～

中芸地区の高齢化は進んでいます

中芸地区は、全国の高齢化率(24.1%)に比べ、40%弱と高い高齢化率になっています。北川村の高齢化率も40.1%あり、特に山間部の高齢化率は50%を超え、年を重ねてもお互いが支え合いながら生活していかなくてはならない現状があります。



高齢者虐待はあなたの身近で起きています

「高齢者虐待」と聞いても、新聞やテレビで目にする人ごとのように思いがちですが、中芸地区でも毎年虐待の相談があり、平成21年からの5年間で虐待件数は16件にものぼります。その8割の事例が夫や息子など男性介護者によるものです。原因としては慣れない介護による負担や認知症への対応がわからないなど、介護をする上で誰しもが経験するであろうことが挙げられます。身近で起きる高齢者虐待は誰もが直面するかもしれない問題であり、虐待者への支援も必要です。

介護の不安をかかえこんでいませんか？



高齢者との生活、特に介護を必要とした場合その生活は考える以上に大変です。認知症の方への対応など家族だけで支えるのには限界があります。家族で問題を抱え込まず、福祉・介護のサービスや専門機関や地域のネットワークの力を借りることも大切です。また、地域の方の見守りや声かけで介護者の気持ちが楽になることもあります。地域全体で支え合っていくことが大切です。

みんなで防ごう高齢者虐待

虐待による最悪の事態を防ぐためには、地域の方をはじめ周囲の皆さんの協力が必要になります。それぞれの立場でできることをやっていく。小さな積み重ねが誰かの心の支えになり、虐待の防止にもつながっていきます。また、高齢者虐待は児童虐待と同じように住民の方にも通報の義務があります。「ちょっと心配だな」と気になる時はいつでも地域包括支援センターにご連絡ください。守秘義務により誰が連絡したかなどが周囲に漏れることは決してありません。安心して連絡してください。

＊ 高齢者のことならなんでもご相談ください ＊

中芸広域連合地域包括支援センター

田野町 1828 番地 6 (田野町役場東隣) ☎32-1244



保健だより

＋ 今年度まだがん検診を受けていないみなさまにお知らせです ＋

今年度のがん検診を受診していない方を対象に、下記日程でがん検診を実施します。
今回の検診は、住所地以外の会場でも受診ができますので、お勤め先に近い会場など、
ご都合に合わせて受診会場を決めてお申し込みください。
事前の申し込みが必要ですのでご注意ください。



(対象となる方)

以下の年齢の方のうち、今年度(平成25年4月1日～)がん検診を受診していない方

肺がん検診・胃がん検診・大腸がん検診：40歳以上男女 乳がん検診：40歳以上女性 子宮頸がん検診：20歳以上女性

(自己負担)

肺がん検診：0円 胃がん検診：900円 大腸がん検診：300円 乳がん検診：600円 子宮頸がん検診：600円

(申込方法)

平成25年12月9日(月)より、電話にて申し込みを受け付けます。
(各会場定員に達した時点で申し込みを締め切りますので、ご了承ください)

	市町村	実施場所	肺	胃	大腸	乳	子宮頸
平成26年2月20日(木)	中芸広域連合	奈半利町保健センター	○	○	○		
平成26年2月21日(金)	高知市	高知市保健福祉センター	○	○	○		
平成26年2月26日(水)	南国市	南国市保健福祉センター	○	○	○		
平成26年2月28日(金)	高知市	高知市保健福祉センター	○	○	○		
平成26年3月4日(火)	室戸市	室戸市保健福祉センターやすらぎ	○	○	○	○	○
平成26年3月7日(金)	高知市	高知市保健福祉センター	○	○	○	○	○
平成26年3月11日(火)	安芸市	安芸市ふれあいセンター「元気館」	○	○	○	○	○
平成26年3月12日(水)	香美市	保健福祉センター香北	○	○	○		
平成26年3月13日(木)	香南市	野市ふれあいセンター	○	○	○		
平成26年3月14日(金)	高知市	高知市保健福祉センター	○	○	○		
平成26年3月20日(木)	香南市	野市ふれあいセンター	○	○	○		

＋ 郵送による大腸がん検診を受けてみませんか ＋

大腸がん検診をより受けやすくするために、希望者に大腸がん検診の容器を送付し、便採取後に郵送で提出していただく方法による検診を高知県が試行的に実施します。

(対象となる方) 高知県内に住所を有する40歳以上の方で、平成25年度(平成25年4月1日～)に大腸がん検診を受診していない方

(自己負担) 無料

(申し込み期間) 平成25年12月16日(月)～平成26年2月14日(金) 電話にて申し込みを受け付けます。
(定員に達した時点で申し込みを締め切りますので、ご了承ください)

※事業に関する問い合わせ先：高知県健康政策部健康対策課 ☎088-823-9674
中芸広域連合保健福祉課 ☎0887-38-8212

※通常の市町村検診と申し込み先が異なりますのでご注意ください。
申し込み電話番号：088-832-9691(高知県総合保健協会)
申し込み受付時間：8時30分から17時まで(土・日・祝は休)

＋ 「肝炎ウイルス検査」がまだのあなた！今すぐ受けましょう ＋

一早期発見・早期治療は肝硬変や肝がんへの進行を防ぎます！



肝臓がんの90%はウイルス性肝炎由来と言われ、原因が分かっているので治療により予防ができるがんの一つです。

ウイルス性肝炎は、普通の生活の中では感染しない感染症です。しかし、血液や体液を媒体を介して感染するため、過去の同一注射針による集団予防接種や輸血などにより、誰もが感染の可能性があります。特に40歳以上の方に感染が多いと言われます。



肝炎ウイルス検診を無料で実施中！

採血による検査で結果は数週間待ちます。過去にB型肝炎、C型肝炎検査をしたことのない方が検査の対象になります。

■ 実施場所

- ①高知県内の保健所(安芸福祉保健所では、毎月第1・3水曜日午後。予約制)
- ②県内の約320か所の委託医療機関(平成26年1月31日までで終了)

感染がわかったら

■ 治療方法・医療費助成制度

ウイルスを排除する核酸アナログ製剤や・根治を目的としたインターフェロン治療があります。国と都道府県では肝炎治療にかかる医療費について助成を行っています。

お問い合わせ先：安芸福祉保健所 ☎34-3175

【情報提供】中芸広域連合保健福祉課 ☎38-8212



みどり保育園

PHOTO通信



芋ほり
11月6日(水)

ひんにちは 1歳になりました



新井 正夫さん・美鈴さんの長女
せりな
芹菜ちゃん
(平成24年11月15日生)
お父さん、お母さんから一言
「元気で思いやりのある女の子に育ってください」



浜渦 努さん・梨恵さんの二男
しゅんたろう
俊汰郎くん
(平成24年11月2日生)
お父さん、お母さんから一言
「たくましく人に優しい男の子になってね」

行事予定表

事業	実施年月日	実施時間	実施場所・引き取り場所
乳児健診	12月11日(水)	4カ月、6・7カ月児 13:00～ 10カ月、12カ月児 13:15～	田野町保健センター
1歳6カ月健診	12月18日(水)	(受付)13:00～	田野町保健センター
野友介護予防教室	12月5日(木)・12日(木)・19日(木)・26日(木)	10:00～	北川村保健センター
加茂介護予防教室	12月6日(金)・13日(金)・20日(金)・27日(金)	10:00～	北川村農業センター
久府付介護予防教室	12月4日(水)・11日(水)・18日(水)・25日(水)	10:00～	北川村農村婦人の家
柏木・崎山介護予防教室	12月5日(木)・12日(木)・19日(木)・26日(木)	13:30～	柏木交流センター
野川さくら会	12月4日(水)・11日(水)・18日(水)・25日(水)	9:30～	野川交流センター
長山せせらぎ会	12月3日(火)・10日(火)・17日(火)・24日(火)	9:30～	長山交流センター
宗ノ上介護予防教室	12月5日(木)・12日(木)・19日(木)・26日(木)	13:30～	宗ノ上集会所
中部けんこうクラブ	12月6日(金)・13日(金)・20日(金)・27日(金)	9:00～	小島集会所
小川ふれんど	12月12日(木)	10:30～	菅ノ上集会所
島バラ会	12月19日(木)	10:00～	北部集会所
親子ふれあい広場	毎週月・木曜日	9:00～16:00	北川村保健センター
ゆずみどり	毎週木曜日		北川村保健センター

平成25年12月25日は集合村税第7期の納期限です。お忘れなく！